

個々の患者ごとに構築する 唯一無二の治療・予防プログラムが特徴

高い技術と最新医療機器、スタッフの人柄が好評の歯科医院

患者さんの歯の歴史を知ることが
歯科治療において最も大切です



プラム四谷歯科クリニック



プラム四谷歯科クリニック

院長 安豊(李) 昌弘

信頼の主治医

明日の医療を支える信頼のドクター

新宿の四谷はJRや東京メトロなどが乗り入れ、駅周辺には商業施設やオフィスビル、大学が立ち並び、ビジネスパーソンや学生など多くの人が集まり、行き交う場所だ。利便性が高く、人通りの多い四ツ谷駅から徒歩5分程のところに、患者から絶大な信頼を集める人気の歯科医院がある。それがプラム四谷歯科クリニックだ。強みは歯科医師や歯科技工士、歯科衛生士の確かな腕とデジタルフル活用の最先端医療機器、患者に寄り添う全スタッフの高いコミュニケーション力。これらが一体となった歯科医療の提供で、ファンとなる患者を増やしている。

「何1つ欠けてはいけません、強いていうなら歯科治療は患者さんとのコミュニケーションが最も大切。医師自身の理想の治療を追い求めるだけではいけないと考えています」

こう話すのは院長の安豊昌弘歯科医師。開院以来、患者に良質な医療を提供し続ける安豊院長に、多忙な合間を縫って貴重なお話を伺った。

手先の器用さを活かせる歯科医師に 勤務医を経て独立 開院当初から患者が殺到

元来手先が器用で細かいものを見たり触ったりするのが好きだった安豊院長。親戚に医療関係者がいたこともあり、子どもの頃から医療に携わる仕事に就きたいと考えていた。歯科医師を志した動機は、「手先の器用さを活かせる点と、1人の患者さんに対して診査、診断、治療プラン立案、治療、予防ケアと、最初から最後までトータルに診ることが出来る点に惹かれました」といふ。

歯学部卒業後、大病院や開業医で、主に再生医療やインプラント、歯周病などについて知識と技術を学んだ。経験を重ねる中、次第に独立願望を募らせていく。「自分が描く理想の歯科医療を実現するための器材や人材は独立しなければ揃えられないと感じました」

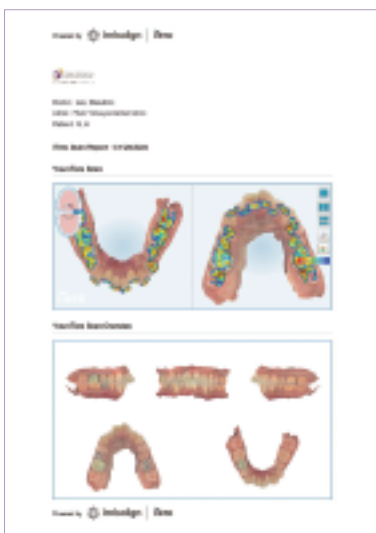
こうして2012年にプラム四谷歯科クリニックを開院。開業場所が人通りの多い立地であったこともあり、当初から多くの患者が来院した。「当時、患者さんの来院過多でキャパオーバーに陥ってしまったこともありました」と振り返る。こうした問題に直面した安豊院長は、「歯科治療は集中力が問われる医療ですので、私1人で診られる患者さんの数も時間も限られる。その場限りの痛みを取り除く治療ではなく、予防治療と一緒に取り組んでいける患者さんを選別していくスタンスを取りました」と、方針を転換。以来、現在まで予防に重きを置いた歯科医療を患者と一緒に取り組んでいくスタイルを重視している。

力を入れて取り組むプラム四谷歯科クリニックの予防歯科医療 歯科ドックの実施で口腔内の状態をこと細かに診断

歯のトラブルの代表格である虫歯と歯周病。悪化すると、激しい痛みや歯の消失、さらには糖尿病や脳梗塞、心筋梗塞など命に関わる重大な疾患をも引き起こす。安豊院長は、「だからこそ、そもそもトラブルにならないようにするための予防と、治療後も再発しないように予防していくことが非常に重要です」という。

「たとえば虫歯を治療して、『めでた終わり』とこのことではなく、なぜ虫歯になったのかを解明しなければ必ず再発してしまいます。治療と共に原因究明を行い、予防メンテナンスを続けていかなければなりません」

「歯周病に関しては、歯が失われる一番の原因ですが、進行してもほぼ自覚症状がありません。悪くなるまで放置されがちな歯周病を、予防歯科で未然に防いで欲しいと思います」



細菌の数値を明らかにする唾液検査や噛み合わせの可視化によって患者にも分かりやすく説明

歯のトラブルを防ぐ予防歯科。プラム四谷歯科クリニックでは、個々の患者の状態に合わせた完全オーダーメイドで提供している。「なぜかという、口の中の噛み合わせ、形態、被せ物、細菌の種類によって、最適な予防アプローチが変わってくるからです」

プログラム立案のための検査にも力を入れ、一環として実施しているのが歯科ドック。問診で健康状態や持病、既往歴、歯の治療歴、生活習慣といった情報を尋ねた上で、レントゲンやCT、口腔内スキャナ、唾液検査を実施。患者の普段の生活習慣を含めた全体像を把握すると共に、虫歯や歯周病の有無、歯並び、噛み合わせのバランス、細菌の種類や数など口腔内の状態をこと細かに調べていく。

「歯科ドックによる詳細な検査は、その後の確かな予防プログラムの立案に役立つことはもちろん、もう一つ、患者さんにとってメリットがあります」

「ただ口頭で『虫歯がありますね』などとお伝えするだけではなく、患者さんと一緒にCTや口腔内スキャナの検査画像を見ながら状態をお伝えし、細菌の種類や数も数値で明確に提示します。『自分の口腔内の状態は今こんな感じなんだ』というのが、画像や数値で分かりますので、説明もご理解いただきやすくなりますし、その後の治療や予防をモチベーション高く、納得して前向きに受けていただける。これが大きなメリットといえます」

歯や歯茎を傷つけないプロによるクリーニング 歯科衛生士の腕や使用する器具、研磨剤の違いで仕上がりに大きな差も

検査やカウンセリングに基づいて行われる予防歯科は、主に歯科衛生士が担当。行うのはPMTCという方法で、専用の器具を使って、歯周病や虫歯の原因になる歯石や歯垢、着色の除去、フッ素塗布などが行われる。いわゆるプロによる歯のクリーニングだ。

「当クリニックでは、歯や歯茎に負担をかけないクリーニングに徹底的にこだわっています」と安豊院長。「歯石の除去により、歯や歯茎が傷ついてしまうケースは普通に起こりえる話ですが、これは今の最先端の歯科医療ではナンセンスな話です。技術や器具の進歩で、リスクなく、ジェントルに歯をキレイにすることができるようです」

プラム四谷歯科クリニックでは、トレーニングをしたプロの歯科衛生士が、超音波スケーラーや拡大鏡、インスツルメントといった最先端の器具を用いて歯石・歯垢だけを狙って丁寧に除去していく。さらに、歯石や歯垢除去後は、ラバーカップやエアフローという器具を用いて、歯を傷つけずに着色や汚れを落とし、歯をツルツル・ピカピカにしていく。「エアフローは、専用の

微粒子パウダーを歯に吹き付けて、着色汚れや細菌の層を取り除く器具です。パウダーのクオリティが昔に比べかなり進化していて、当クリニックも最新のものを使用しています」

クリーニングにおいて、何よりクオリティを優先させ、あらゆる面でこだわりを見せる安豊院長は、「PMTCを行う歯科医院は昔に比べ増えていますが、歯科衛生士の腕や使用する器具、研磨剤などの違いにより、仕上がりに大きな差が出るということを皆さんには知っていただきたいと思います」と話す。

そして、予防歯科においてはこうしたPMTCに加え、患者自身の日々のセルフケアもかなり重要なウエイトを占める。これに対しては、「当クリニックでは個々の患者さんに合わせた適切なブラッシング法や食生活を含むケアの方法、歯ブラシや歯磨き粉の選定などもアドバイスをさせていただきます。歯のケアを無理なく楽しんでやっていただけるような、そんなお手伝いができればと考えています」と安豊院長。

歯科医院では珍しい歯科衛生士の担当制を採用 安豊院長も全幅の信頼を寄せる精鋭スタッフ

プラム四谷歯科クリニックでは、クリニックに通う全ての患者に専属の歯科衛生士を付ける、担当制を採用。歯科医院では珍しい取り組みだ。「メリットは色々あって、『ずっと同じ人が診てくれている』という患者さんの安心感に繋がり、悩みや疑問など本音の部分も教えていただきやすくなります。また、専属歯科衛生士が患者さんをご細かに把握し、それを歯科医師、



クオリティを追求した独自の予防歯科医療を提供するプラム四谷歯科クリニックは、他にも最新の医療機器導入やインプラント治療を強みとしている。「口腔内スキャナ、マイクロスコープ、CTといった最新医療機器を採用しているおかげで、精度の高い診査・診断が可能になり、精密でクオリティの高い治療やクリーニングに繋げることができています」

安豊院長は国際口腔インプラント学会認定医・日本口腔インプラント学会会員。さらにDIOインプラント公認インストラクターを務め、デジタルを駆使したインプラント手術を年間70件以上こなしている。

「インプラントは何十万〜何百万という費用がかかり、決して安い治療ではありません。だからこそ、個々の患者さんに合ったものを入れることと、長持ちさせることが非常に重要です。やり直しのないインプラント手術を行うには、手術前に歯が抜けた原因をしっかりと説明して治療をすること、手術後からの予防ケアがポイントになります」

そして、これらの予防や治療を提供する上で、スタッフ一同が大前提として大切にしているのが、「患者との『コミュニケーション』」。安豊院長は、「患者さんとの『コミュニケーション』が不足してしまえば、歯科医師の理想論と患者さんの抱く希望がずれてしまいます。このようなケースは意外と多いのです」と話す。

「歯の特徴は見れば分かり、色んな検査機器を使うことで状態も把握できます。でも、患者さんの歯の歴史を知ることが歯科治療において最も大切です。そのために、一番時間をかけて、色々

何より重視するのは患者との「コミュニケーション」 予防に特化したフロアを新たに開設

る。「今いるスタッフは歯周病認定医や認定衛生士の資格者も多く優秀な上、人柄も良く、安心して仕事を任せることができます」と安豊院長も全幅の信頼を寄せる。「優秀なスタッフがライフイベントなどで離れてしまうことはもちろん仕方ないことですが、また戻って働きたいと思ってもらえるような、職場環境づくりも大事にしていかなければいけないと考えています」



検査やカウンセリングをしっかりと行うことで
高クオリティな予防歯科を提供

歯科技工士が共有すれば、的確な治療に繋げることが出来ます。治療から当院と関わった患者さんであれば、治療の開始、途中経過、治療終了まで全て把握しますので、「この経過を踏まえたオーダーメイドの予防ケアを提案することができるようになります」

そして、こうした担当制の採用と同時に、「引き継ぎ」にも大きな力を注ぐ。「歯科衛生士は女性スタッフが多いので、結婚・出産で離職するケースも少なくありません。患者さんを不安にさせないためにも、次に引き継ぐスタッフには、カルテに記載された病状はもちろん、トラブルに至った背景や患者さんの要望、想いといった、詳細な情報を全て伝えます。『担当が変わってしまったけど、自分のことを分かってきている』と患者さんに思っていたことを目指しています」

治療・予防を行う上で欠かせない存在である歯科衛生士は、現在クリニックに6名が在籍してい

PROFILE

安豊(李) 昌弘 (やすとよ (り)・まさひろ)

1977年生まれ。東京都江戸川区出身。
 2001年、日本大学松戸歯学部卒業。同年、歯科医師免許取得。
 2001年、日本大学総合歯科診療学講座 入局。
 2002年、日本大学総合歯科診療学講座 助手。
 2004年、SJCD 原田歯科クリニック（千代田区）副院長。
 2012年、プラム四谷歯科クリニック 開院。
 2018年、日本大学松戸歯学部再生歯科医療学講座 博士（歯学）取得。
 2018年、日本大学松戸歯学部非常勤講師。

【所属・活動】

国際口腔インプラント学会 認定医。日本顎咬合学会 咬み合わせ認定医。
 厚生労働省認定 歯科医師臨床研修指導医。日本大学松戸歯学部非常勤講師。
 DIOインプラント公認インストラクター。日本臨床歯科医学会 会員。
 OJ (Osseointegration study club of Japan) 正会員。
 日本口腔インプラント学会 会員。日本歯周病学会 会員。

INFORMATION

所在地 〒160-0004 東京都新宿区四谷2-4-1
 ACN四谷ビル1F
 TEL 03-3355-3718
 FAX 03-3355-3719

アクセス JR総武線「四ツ谷」駅より徒歩5分
 JR中央線「四ツ谷」駅より徒歩5分
 東京メトロ丸ノ内線「四ツ谷」駅より徒歩5分
 東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目」駅より徒歩8分



設立 2012年

診療科目 一般歯科、口腔外科、インプラント、矯正歯科、予防歯科、審美歯科

診療時間 <月～金> 10:00～13:30、14:30～19:00
 <土> 10:00～13:30、14:30～17:00
 <休診日> 日・祝 ※木・土は各週休

理念 歯の悩みは人それぞれいろいろあると思いますが、その原因というものそれぞれにいろいろあります。
 「治したばかりなのに痛い」「問題ないと言われたがやっぱり気になる」「歯ぐきから血が出るけど平気なのかな」「どこで咬んでいいかわからない」「あごがガクガクする」「口の中全部がしみる」「骨がやせすぎていてインプラントが出来ないと言われた」
 決まりきった治療などないのです。個人個人に合わせた適切な治療をご提案いたします。
 一度相談にいらしてください。どんな悩みでも恥ずかしいと思わずに何でも話してみてください。
 当クリニックでは様々な検査をし十分にお話を聞くことにより原因を究明してまいります。
 皆様の悩みを少しでも改善できますように誠心誠意お手伝いさせていただきます。



歯科医院利用のイメージを刷新させるため丁寧な医療提供に力を入れる

な情報を密なコミュニケーションで引き出す必要があるのです」
 強みを活かし、クオリティの高い歯科医療を患者に提供するプラム四谷歯科クリニックは、既存患者のため、そして1人でも多くの新規患者を受け入れるため、2024年6月から予防に特化したフロアを新たに開設予定だという。「今後、歯科医院の利用イメージを変えたいですね。予防・クリーニングを『髪の毛を切りに行く』位の感覚で気軽に当たり前のようになっている。そのための環境・雰囲気づくりというものも引き続き、模索していかねければなりません」
 常に笑顔をやささず、気さくで優しい人柄が印象的な安豊院長。「歯科の仕事が何より好き」と、これからも歯科医という仕事に情熱を傾け、患者に良質な歯科医療を提供し続ける。